

- パラナ州治安情報(自動車盗難事件の増加)
- サンタカタリーナ州治安情報(連続するATM窃盗事件)
- パラナ州南部における水害の発生

.....

- パラナ州治安情報(自動車盗難事件の増加)

4月27日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は本年第1四半期(2012年1月~3月)にかけ、パラナ州内車両盗難4,946件(対前年同期比9.4%増。1日平均54台の盗難)及びクリチバ市内車両盗難2,374件(対前年同期比19%増。1日平均26台の盗難)が発生した旨報じているところ、概要を以下のとおりお知らせします。

1. パラナ州市民警察車輛窃盗強盗課によると本年1月から3月にかけて、パラナ州内において車輛盗難4,946件が発生し、対前年同期比9.4%増加(1日平均54台の盗難)した。なお、同課によると、盗難増加理由は、昨年施行された法令(12.403/2011)の緩刑化傾向による影響としている。

2. パラナ州内において車両盗難増加率が最大であったクリチバ市の車輛盗難は2,374件であり、対前年同期比19%増加(1日平均26台の盗難)した。主な車輛盗難発生地区は、引き続きアグア・ヴェルジ地区、ピニェリーニョ地区及びクリチバ工業地区(CIC)である。主な車輛盗難被害車種は、GOL(VOLKSWAGEN), PALIO(FIAT), CELTA(CHEVROLET), CIVIC(ホンダ), COROLLA(トヨタ)及びI30(HYUNDAI)である。

- サンタカタリーナ州治安情報(連続するATM窃盗事件)

5月3日付当地ジアリオ・カタリネンセ紙は、サンタカタリーナ州フロリアノポリス市においてATM窃盗事件が続発した旨報じているところ、概要以下の通り。

1 5月3日午前0時頃、フロリアノポリス市バスターミナル内イタウ銀行ATM1台の窃盗事件が発生した。市民警察は事件現場に血痕を発見しており、犯人が負傷した可能性があるとみている。バスターミナル内に設置されている防犯カメラ映像を調査するとしている。尚、同バスターミナル内ATM窃盗事件は、2ヶ月前にも発生している。

2 又、同日、同市ベイラマールノルチ通りに所在するサンタンデル銀行においても、バール及びプロランプを使用したATM窃盗事件が発生しており、犯人は、未だ逃走中である。尚、被害額は公開されていない。

- パラナ州南部における水害の発生

4月27日付ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、4月25日より26日までの約24時間に亘り、パラナ州南部を中心に襲った集中豪雨により多数の都市において水害が発生

した旨報じているところ、概要を以下のとおりお知らせします。尚、クリチバにおいては観測史上最大の月間平均降水量を記録した。

1. 4月25日より24時間降り続いた集中豪雨により、クリチバ市及び同大都市圏、地方都市においてはポンタグロッサ市、フランシスコ・ベルトロン市及びカスカベル市の特に川沿い地区付近において水害が発生した（死傷者無し）。クリチバ市においては、ボケイロン地区ベレン川の氾濫により家屋が浸水した。

2. なお、消防署による発表では、クリチバ大都市圏アラウカリア市及びファゼンダ・リオ・グランデ市における洪水が発生し、ピラクアラ市においては床上浸水40センチを記録した。また、同州中央部グアラプアヴァ市では家屋10軒が浸水し、ポンタ・グロッサ市の3地区において洪水が発生し、連邦道路警察及び州道路警察によると豪雨を起因とする交通事故も4件記録した。

3. また、パラナ州気象技術研究所（INSTITUTO TECNOLÓGICO SIMPAR）の発表によると、4月1日より同26日までのクリチバ降水量は159ミリとなり、観測開始（1961年）からの月間平均降水量である95ミリを大きく超える観測史上最大を記録した。気象専門家であるタルシジオ・コスタ氏は、太平洋上のラニーニャ現象がブラジル南部における秋期の気温に多大な影響を及ぼしている旨説明した。